

JEITA 調査レポートをやさしく読む

スマートホームは なぜ広がらない？

「知っている」のに「使っていない」理由と、
普及に向けた3つの提言

元資料：JEITA スマートホーム部会「スマートホーム普及の課題と、普及に向けた提言」（2026年8月7日）

まずは基本から

スマートホームってなに？

家電や住宅設備をインターネットにつなぎ、**スマホや声で操作・自動化**できる住まいのこと。

家事

ロボット掃除機
スマート冷蔵庫
スマートエアコン

住宅設備

スマートリモコン
スマートライト
電動シャッター

娯楽

スマートスピーカー
スマートテレビ

防犯

スマートロック
防犯カメラ

たとえば… 外出先からエアコンをつける / 鍵の閉め忘れをスマホで確認する

どんな調査？

「使う人」と「貸す人」の両方に聞いた

回	だれに聞いた？	回答数	時期
第1回	一般ユーザー（全国）	1,253人	2021年12月
第2回	一般ユーザー（全国）	1,258人	2022年10～11月
第3回	賃貸住宅を貸す側（オーナー・不動産会社など）	928人	2025年6月 報告

方法：インターネットアンケート＋インタビュー（調査会社：マクロミル）
共同実施：コネクティッドホーム アライアンス（CHA）

この資料の読み方

「5つの段階」で人がどこで離れるかを見る

STEP 1

認知

知っている

STEP 2

利用意向

使ってみたい

STEP 3

利用

実際に使っている

STEP 4

満足

使ってよかった

STEP 5

継続意向

もっと使いたい

お店で例えると「店を知る → 入りたい → 買う → 満足 → また来る」。

どの段階で人が減るかが分かれば、打つべき手が見えてきます。

一般ユーザー調査

数字で見る、一般ユーザーの今

知っている

65.5%

中身まで知っているのは34.5%

無料なら使いたい

64.3%

有料だと13.4%に下がる

実際に使っている

15.8%

ここで大きく減る

満足している

88.0%

使っている人のうち

もっと進めたい

83.0%

使っている人のうち

「使ってみたい」から「使っている」の間に、**大きな落とし穴**があります。

ここがポイント！

知っている人は 3人に2人。
でも、使っている人は 約6人に1人。

そして、使った人の 約9割が満足 している。

→ まずは「一度使ってもらう」ことが普及のカギ。

実際、機器の利用者は「無料サービスを使いたい」が83.6%（非利用者は59.0%）。

使う前の不安トップ3



イメージでも「設定が難しそう」25.8%、「セキュリティが不安」25.6%

「特に不安はない」はわずか12.6%。ほとんどの人が何かしら心配している

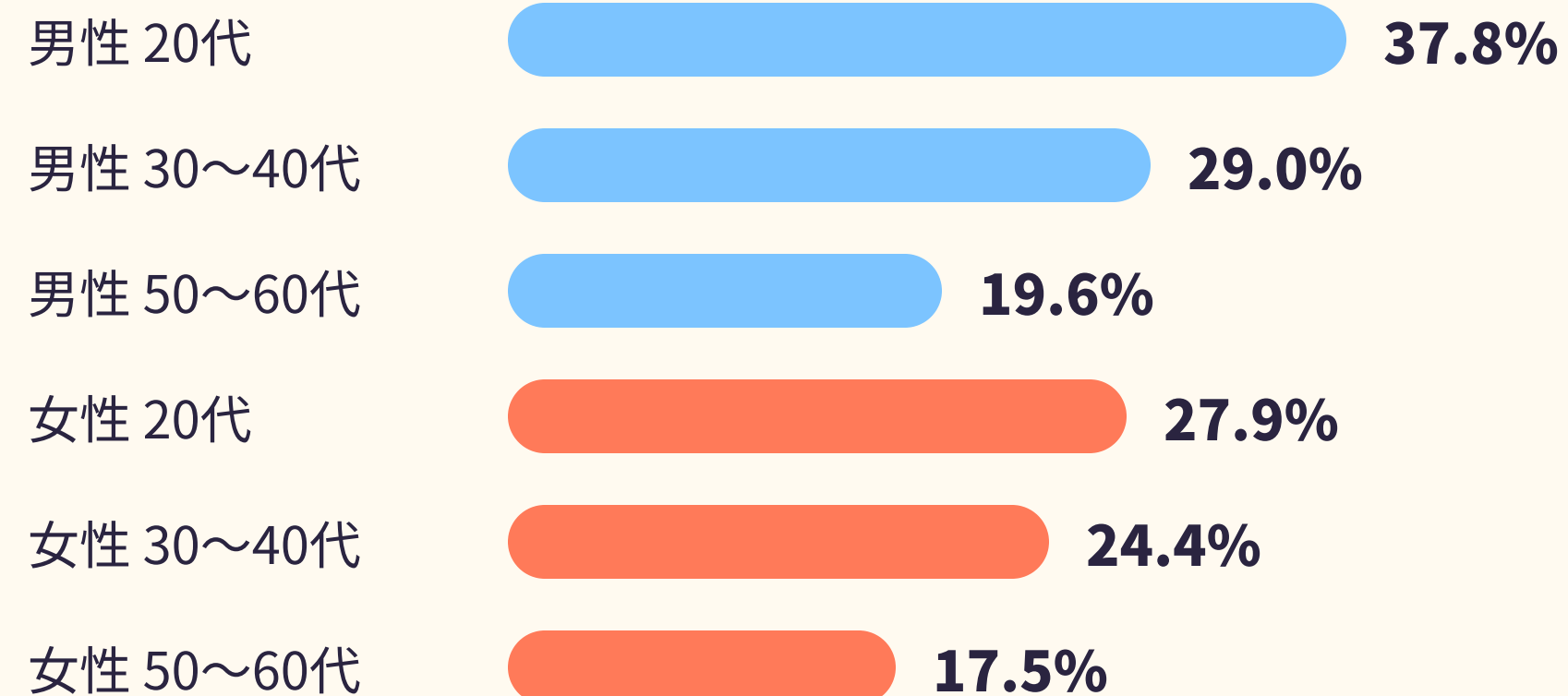
ジャンル別に見ると？

ジャンル	知っている	使っている	満足	続けたい
家事（ロボット掃除機など）	51.8%	8.9%	87.8%	81.3%
娯楽（スマートスピーカーなど）	36.8%	6.5%	90.9%	81.8%
住宅設備（スマートライトなど）	32.5%	4.5%	89.0%	89.9%
防犯（スマートロックなど）	28.0%	2.5%	80.9%	80.1%

いちばん使われている機器は **ロボット掃除機（6.1%）**。どのジャンルも使った人の8割以上が「続けたい」。

年代・性別でこんなに違う

知っている人のうち、使っている割合



若い男性ほど使っている

利用率は男性20代 23.6%、30代 22.4%

50～60代は「知っているのに使わない」

「故障やトラブルが多そう」「初期設定が不安」が足かせに

次は「住まいを貸す側」に聞きました

賃貸マンション・アパートにスマートホームが増えれば、
入居した人が自然と使い始めるきっかけになります。

つくる人

デベロッパー

土地を仕入れ、建物を企画・開発・
販売する不動産開発会社

回答 155人

持つ人

オーナー

建物や部屋を所有して入居者に貸
し、家賃収入を得る人

回答 464人

まかされる人

管理会社

清掃・修繕や入居者対応など、オー
ナーに代わって運営する会社

回答 309人

数字で見る、貸す側の今

知っている

90.3%

一般ユーザー（65.5%）
より高い

関心がある

46.1%

知っていても半分以下

導入したい

36.5%

オーナーは45.7%

導入している

37.5%

過去の導入も含めると
44.2%

続けたい

65.6%

導入経験者のうち

新築志向のオーナーは関心71.0%と特に前向き

管理会社は関心33.0%、導入20.4%と慎重

期待はある、でも「お金と手間」が心配

導入したい理由

入居者が増えそう **38.9%**

入居者が便利になりそう **38.9%**

セキュリティが上がりそう **38.6%**

スマートホームのイメージ

初期費用が高い **68.8%**

維持管理の費用が高い **66.5%**

維持管理の手間がかかる **62.8%**

導入した後の不満でも1位は「**思ったより初期費用がかかった**」(27.1%)。

普及をはばむ「3つの壁」

1

価値が 分らない壁

「何が良いの？」
「生活がどう変わるの？」
「値段が高そう」

2

設置が 難しそうな壁

「自分で設定できる？」
「ネット接続が難しそう」
「壊れたらどうしよう」

3

安心・安全が 心配な壁

「生活データが悪用されない？」
「監視されているみたい」
「電気代が増えそう」

3つの壁を越えるための提言

価値の壁

体験の機会をつくる

体験スペースやイベント、スマート賃貸の提案、防犯・見守りなど身近な困りごと解決の提案

設置の壁

設定のプロ「インストーラー」を育てる

設置からトラブル対応まで一か所で相談できる人材、AIも活用したサポートページ、接続ルールの整備

安心の壁

安全を「見える化」する

セキュリティの★ラベル「JC-STAR」で選びやすく、正しい知識を発信して思い込みの不安を減らす

「見守り」と「防犯」で身近に感じてもらう

スマートロック

子どもの帰宅をスマホに通知。手ぶらで開くので鍵をなくさない

スマートカメラ

留守番中の子どもやペットの様子を確認、会話もできる

スマートインターホン

外出先から来客に応答。不審者対策にも

ひとり暮らしの高齢者

家電の使い方の変化から体調の変化に気づく「見られていない見守り」

おまけ

これだけ押さえれば大丈夫！用語ミニ辞典

IoT（アイオーティー）

モノがインターネットにつながること。「モノのインターネット」

JEITA（ジェイタ）

電子情報技術産業協会。電機・ITメーカーなどが集まる業界団体

インストラー

機器の設置・接続設定から困りごとまで、まとめて対応する専門家

JC-STAR（ジェイシースター）

IoT機器のセキュリティを★の数で示す国の制度。2025年3月開始

責任分界

トラブル時に「どこまでが誰の責任か」の境目。今はあいまいになりがち

ファネル

認知→利用→継続と段階ごとに人数が減る様子を、じょうごに例えた見方

まとめ

今日のポイントは3つ

- 1** 知っているのに使っていない。認知65.5%に対し、利用は15.8%
- 2** 使えば満足する。利用者の88%が満足、83%が「もっと進めたい」
- 3** カギは3つの壁を崩すこと。体験の場・設定のプロ・安全の見える化